

## 幼児教育と保育について

吉川 幸喜 議員

**問** 幼稚園の園児数減少は多様な要因があると考えられます。幼稚園の取組だけでなく本市をあげて幼稚園・保育園・認定こども園の現状を把握し、将来を見据えた今後の在り方について検討する時期に来ているのではないかと考えますが、園児数が減少している幼稚園について、今後どのようにお考えですか。

**答** 就学前教育については義務教育ではありませんので、幼稚園、保育園、認定こども園、さらには公立・私立と、選択肢が多様にあります。今後、就学前教育全体の中で、公立幼稚園がどうあるべきかという観点も含めて、関係部局と連携しながら、検討してまいりたいと考えております。

## 高齢者の見守りや安心安全対策について

福田 浩実 議員

**問** ①私が平成23年、24年に導入を提案していた「救急医療情報キット」を新年度予算化された経緯と内容は？②認知症の方の早期保護対策と「2次元コード付き見守りシール」の考えは？

**答** ①これまでから活用している「救急連絡カード」は保管場所が各家庭で統一されていませんでしたが、「救急医療情報キット」では、専用の容器に入れ冷蔵庫に保管するため、緊急事態において迅速な対応を図ることができるものと考え予算化しました。②GPS機器の活用や「見守り金魚バッチ」等の充実により体制強化します。

・他の質問項目：デフリンピック支援と共生社会の推進について

## ①行政サービスについて

## ②高齢者支援について 村田俊太郎 議員

**問** ①-1 市公式LINEアプリの配信に偏りがあるのでは？①-2 バリアフリートイレマップを母子健康手帳アプリ上に搭載できないか？②「健康ポイント」「介護ボランティアポイント」の考え方について

**答** ①-1より幅広い情報を積極的に配信するよう全庁的に働きかけていきます。①-2このアプリには、市からのお知らせを掲載する機能があり、これを活用し情報発信していきます。②「すこやか100万歩手帳」を有効活用し、健康づくりへの日常習慣を身に付けていただきたいと思います。また、介護ボランティアポイントにつきましては、全国的に広がりを見せていますが、本市では他市町村の情報を得ながら、調査研究を進めて参ります。

## 高齢者の移動手段について

林 浩史 議員

**問** 高齢化が進む中、高齢者の移動手段として、コミュニティバス拡張・増便、タクシー活用、現在進行中の移動支援（おでかけGO）拡充等、公共交通の更なる拡充は急務であるが、今後の考え方をお聞きます。

**答** 移動の自由は基本的人権ともいえる非常に大切な権利です。今年度「公共交通の在り方検討委員会」を設置し、高齢者の移動手段を含む公共交通全体の課題について検討を進めており、市民に寄り添った持続可能な公共交通の実現に向け積極的に取り組んでいきます。また、地域の助け合いの中で移動手段を確保するという方向性は本市にとって重要な考え方であり、若者と高齢者の連帯という発想も活かすことができると考えています。

## 2日目

## 健やかな学校生活について

徳野 衆 議員

**問** ①小中学校で「男女平等」や「性の多様性尊重」を意識づける「男女混合名簿」の採用をもとめてきたが現状は？②中学校の制服について、スカート・スラックスが自由に選べる選択制を取り上げてきたが現状は？③生理用品を学校トイレにも設置する学校の状況は？

**答** ①男女混合名簿については、性別役割分担意識の慣行の廃止の為、市内小中学校全てで使用しております。②中学校の制服については、性の多様性を尊重することも含め、現在、全ての中学校において、スカートかスラックスの選択ができるものとなっております。③トイレに生理用品を設置している学校については、現在、昨年度から2校増え、小学校5校、中学校3校となっております。

## 児童の集団登下校について

金銅 成悟 議員

**問** 小学校の登下校時に、暑い日、寒い日にも関わらず子どもたちの為に大勢の市民の皆様が登下校の見守りをしています。地域で見守りをいただいているボランティアの方々の高齢化も進み、今後、地域の高齢者の協力は難しくなる中、高学年が低学年を面倒見ての集団登下校について、複数年かけ実施方法を考えてはどうか。

**答** 学校の様々な課題に対し、地域・家庭・学校が、学校運営や教育活動に参画するコミュニティ・スクールや、地域住民等と学校の連携協力体制として地域学校協働本部の整備に取り組んでおり、そのような場を活かし、子どもたちが、安全に、登下校できるよう、継続的な見守りの体制の構築に、努めてまいりたいと考えております。